

「ロシア絵画の至宝展」

プチガイド

国立ロシア美術館は10世紀から21世紀までの約1000年間にわたる

ロシア美術専門の美術館です。この展覧会では、東京富士美術館の

開館35周年を記念して40点の作品をお借りして「夢、希望、愛」をキーワードに

紹介しています。さあ！夢、希望、愛をさがす旅に出かけましょう！



鑑賞のヒント

APPRECIATION TIPS

01 なに見える？近づいて見てみよう。
少し離れて顔をふくめた全体を見てみよう

02 どんな風を感じる？感じ言葉にしてみよう！
ワクワク / ドキドキ / しくしく(涙) / キー(むいめ) / ほっこり / シーン /
ふわふわ〜っ / シャキッ！ / …。(言葉にならない)

03 どうしてそう感じたのかな？
もう一度、絵をよく見てどんな場面が想像してみよう
楽しい / 悲しい / お祝いの / 静かな / キケンな / 不気味な / 空想の /
リラックスした / きんちょうした / びっくりした / なごやかな / おごそかな

04 自分が絵の中の世界に入りこんだとしたら…？！
五感をとぎすませて、見えないところまで想像してみよう！

…絵の手前側や絵の外側にはどんな風景が広がっているかな？

…どんな音が聞こえてきそう？どんな会話をしてる？

…どんなにおいがしてきそう？

…食べ物や描かれている？どんな味がしそう？

…さわり心地はどんな感じ？(ふわふわ / ゴツゴツ / めるめる / ザラザラ…)
天気はどうか？気温はどのくらい？

05 上の02～04について他の人と意見交換してみよう

第九の怒濤

さつかめい

作家名：イワン・アイヴァゾフスキー

せいさくねん

制作年：1850 年

なんにん
ひと
何人の人が見えるかな？



「第九の怒濤」とは
どんな意味だろうか？

ふな 船のりのあいだでは、あらし 嵐のときにはばんめ 第九番目にくるなみ いちばん 一番破
かいてき い 壊的な波だと言われ、その波をこえるとてん たす 天の助けがあると言
つた 伝えられていました。ここではおおなばら ふね 大海原で船がなんぱし、たお
れた木のマスト（風をコントロールする帆を張るための棒）に
ひっし 必死にしがみつくと6人の船のりたちが見えます。あと
すうびょうご 数秒後には第九番目の波がおそいかかろうとして
います。後ろ向きであか 赤いターバンをふっている
うし む 人の先にはまさにその大波のふもとで波にの
さき まれかけているひとかげ 影が見えます。しかし、大波
きょくじつ かれ 希望の旭日が彼らの人生
しょうり よ かん 勝利を予感するかのようにこうこうと輝いてい
ます。国立ロシア美術館がほこる、かいよう が 海洋画家、アイヴァ
ゾフスキーめいさく の名作です。

おとなりの
だいこう ずい
《大洪水》も
よく見てみよう。
いろいろな動物
がいるよ！

サトコ

作家名：イリヤ・レーピン 制作年：1876 年

海の生き物がたくさん！
どんな生き物がいるか
さがしてみよう！



サトコは右に立つ
男性の名前だよ。
彼はどこを見ているのかな？

ここは海の王の宮殿。夢のような

幻想的な世界にたくさんの海の生き物があります。

サトコの手元にはロシアの伝統的な弦楽器グースリが。

サトコはグースリの名手で海の王もその演奏に大喜び。お礼にお嫁さんを紹介しようと人魚を先頭にさまざまな民族のきらびやかな女性たちが奥の方まで列をなしてサトコの前にあらわれます。しかしサトコの視線の先には派手さはないけれど美しいロシアの女性がたたずんでいます。この絵の作者レーピンは、パリに留学中この作品を描きました。サトコを自分と重ねて故郷ロシアに思いをはせているのかも知れません。このお話はロシアのヴィリーナと呼ばれる口承叙事詩(口伝で広まった物語)のひとつです。

は だし 裸足のレフ・トルストイ

作家名：イリヤ・レーピン 制作年：1901 年

彼の職業はなにかな？
なぜ裸足なんだろう？



レーピンはこの最も偉大なロシアの文豪トルストイに尊敬と深い親愛の情をいだき20年以上にわたり、友情をはぐくみ続けました。トルストイは『復活』という小説を書いたことで権力の中心だった教会から追い出されてしまいました。そのことに激怒したレーピンは、名声におぼれず農作業をし、素朴な生活を送るトルストイの真の姿を絵にして、その文豪の正義を示そうとしたのです。裸足で粗末な服装が余計にその精神のけだか気高さを感じさせます。

かんしょう いち まい
鑑賞のヒントをもとにお気に入りの一枚を見つけてみよう！

作品名：

制作年：

作家名：

この作品は【 夢 ・ 希望 ・ 愛 】を感じた

そのほか：【 】を感じた

夢、希望、愛を感じる作品はあったかな？感じたものに○をつけたり、【 】に感じた言葉を書いてみよう

かんそう じ ゆう
感想や思ったこと・気づいたことを自由にメモしよう！